

特集

2020年度京都大学財政学研究会 冬シンポジウム

「日本の環境イノベーションのこれから」

○諸富 本日の司会およびパネルディスカッションのモデレータをさせていただきます、京都大学地球環境学堂兼大学院経済研究科の諸富と申します。よろしくお願いたします。

本日は、私たちの恒例の冬のシンポジウムなんですけれども、「日本の環境イノベーションのこれから」というタイトルでシンポジウムを進めていきたいと思っております。

今日は、このテーマが私どもが思っていた以上にタイミングがぴったりと合いまして、皆さんご存じのように、菅首相が「2050年カーボンゼロ宣言」をいたしました。それから膠着していた日本の脱炭素へ向けた議論がにわかに進み始めまして、報道等で皆さまご存じのように、例えば2035年までに全ての車を電動車にする、あるいはガソリン車を廃止するといったような方針が報道されたり、さらに東京都はそれを前倒しするかたちで、2030年までに電動化する、というような方針が出てきたりしています。

かつて10年くらい前ですか、本日のパネリストの一人でいらっしゃる明日香先生と共に、排出量取引導入の議論を当時、盛んにしていたのを思い出しますが、その挫折以来、排出量取引の議論をするのはばかられるような感じで、なかなか産業界の皆さまも反発をする政策で前進を図るのは難しかったのですが、本当に雰囲気が変わってきたなと思

ます。

その中で、ちょうどいまはコロナ禍でありまして、この不況からどうやって脱却をしていくかということも議論になり、そして単純な景気回復ではなく、今日、議論になりますグリーンリカバリーということで、脱炭素の方向性と合致した回復でなければいけないという議論になりつつあります。そういう意味で、今後の経済の在り方にも大変大きな影響を及ぼすのが脱炭素、グリーンリカバリーというようなテーマだと思います。

今日のシンポジウムの構成ですけれども、まずは今日、招聘させていただいた各先生方にご講演をいただきます。それが第1部となります。第2部の前半は登壇者によるパネルディスカッション、そして第2部の後半にフロア討論という構成を考えております。

途中、1部と2部の間は休憩を取らせていただきます。

パネルディスカッションの後、フロア討論ということで、皆さまからのご質問を受け付けて、そのご質問に答えるかたちで議論を進めていきたいと思っております。そのために、皆さまからのご質問を受け付けたいと思います。ただ、よくありますように、これはZoom開催ですので、ご発言いただくよりは、チャットという機能がございますね、そちらを使用して、質問を受け付けたいと思います。

質問はいまから常時受け付けていきたいと思  
います。

先生方がご講演されている最中であって  
も、そのご講演に対する質問はチャットの方  
に書き込んでいただきますと、こちらで、全  
員宛てにお送りいただくのが、たぶん一番  
いかなと思いますけれども、場合によっては、  
ちょっとはばかられる場合は、諸富宛てプ  
ライベートでチャットをお送りいただいても結  
構でございます。諸富の方でそれを紹介する  
かたちで、最後の質疑応答セッション、フロ  
ア討論セッションを進めたいと思います。

もしたくさんのご質問を、幸いにしていた  
だけた場合は、残念ながら全てご紹介するこ  
とは難しくなるかもしれません。その点、あ  
らかじめご承知おきいただきたいと思いま  
す。

それから皆さまへの注意事項としまして、  
参加の皆さま方は一応、音声と画像の方はオ  
フにしてご参加をいただきたいと思ってお  
ります。あらためましてその点、ご確認いた  
だければと思っております。

本日は総勢、われわれも小さな研究会のシ  
ンポジウムなんですけれども、トータルにし  
て、登壇者を合わせて40名程度の事前申し  
込み状況となっております。われわれの研究  
会としては、比較的関心が高いテーマで、多  
めの事前参加申し込みをいただいたと思っ  
ております。積極的なご参加をいただきまし  
て感謝を申し上げます。

では、先生方のご紹介にまいるたいと思  
います。今日ご登壇いただく先生ですけれど  
も、最初に東北大学の明日香先生でござい  
ます。明日香先生、一言よろしいですか。

○明日香 どうも、明日香です。よろしくお

願いします。

○諸富 よろしくお願ひいたします。

続きまして2番目に登壇いただくのが、  
IGES（アイジェス）というふうにわれわれ  
は通常、呼んでおりますが、公益財団法人地  
球環境戦略研究機関の金先生でございます。  
金先生、一言だけごあいさつお願ひします。

○金 皆さんこんにちは。IGESからまいり  
ました金と申します。本日はよろしくお願  
ひします。

○諸富 はい、よろしくお願ひします。

続きまして3番目にご登壇いただくのが、  
京都産業大学（京産大）の藤井先生でござ  
います。藤井先生、ごあいさつをよろしくお  
願ひします。

○藤井 京都産業大学経済学部の藤井です。  
よろしくお願ひします。

○諸富 よろしくお願ひいたします。

3名の先生方によるご講演の後、いったん  
休憩に入りまして、パネルディスカッション  
に入るわけですけれども、パネルディスカ  
ッションの冒頭に長岡技術科学大学の李志東  
先生からご発言をいただくことになっており  
ます。李先生、よろしくお願ひいたします。

○李 李です。どうぞよろしくお願ひします。

○諸富 ありがとうございます。各先生方  
からは、大変詳細な研究ご発表資料を作成  
いただきまして、今日のご講演それぞれに大  
変楽しみでございます。

そうしましたら、いま申し上げたような順  
に沿ってご講演を始めていきたいと思いま  
す。では最初に明日香先生からご講演いた  
だけますでしょうか。よろしくお願ひいた  
します。

○明日香 はい、よろしくお願ひします。で

● は画面を共有させていただきます。ご覧にな  
○諸富 はい、大丈夫です。  
られるでしょうか。